

網走道路整備事業協組が安全大会

慣れによる事故に注意

30人参加し安全大会開く

【網走発】網走道路整備事業協同組合（代表理事・筈谷俊一網走工業㈱社長）は二十三日、美幌商工会議所で公共土木施設維持管理業務安全大会を開催した。写真。あいさつに立った筈谷代表理事は、仕事の「慣れ」からくる事故に注意するよう呼びかけた。

二月にかけて毎週末、暴風雪に見舞われたが、その都度、組合員の皆さんは全力投球して業務を遂行し、人災事故もなかった。夜半、早朝にかけて視界不良な天候の中を除雪していただき、本当に感謝している」と述べた上で、「これもひとえに、網走建管事業課の指導、警察の密接な指導・指示をもってできたことであり、あらためて感謝申し上げます。今後とも、事故のないように、慣れないように十二分に気を付けていただきたい」と呼びかけた。



続いて、網走建管事業課の千葉輝明主任技師が来賓あいさつ。「ゲリラ豪雨など、最近では気象が激しくなっている。緊急のパトロールや維持作業のお願いをしているが、最前線で仕事をしている皆さんに心から感謝申し上げます。間もなく連休が始まり、必然的に交通量も多くなるため、交

通事故に気を付けて事故のないようやっていたいただきたい」と求めた。このあと、美幌警察署の土屋竹治交通課係長が交通安全講話を行い、道内の事故発生状況や道路交通法などを説明。実際に起きた交通事故の写真を見せ、事故防止のポイントを説明し安全運転を呼びかけた。

つぎに、網走建管事業課の松山尚基主査が、業務要領指導および注意事項などについて説明した。最後に、組合員を代表して、乃村忍氏と吉田里志氏

の二人が安全宣言。ことし一年間の無事故・無災害を誓い合った。